

# 高松市上下水道事業基本計画【改定版】の概要

## 1 現計画の策定趣旨・位置付け

### 国の動き

【厚生労働省】 H16 「水道ビジョン」公表  
 【国土交通省】 H17 「下水道ビジョン2100」公表  
 H19 「下水道中期ビジョン」公表

H19.3 高松市水道事業基本計画（～H30）  
 （高松市水道ビジョン）策定  
 H23.4 高松市上下水道局発足

「高松市上下水道事業基本計画  
 （高松市上下水道ビジョン）」の策定（H24.9/末）

計画期間：10年間  
 （平成24年度から33年度まで）

H24～H27

H28～H31

H32～H33

- (1) 上下水道組織の統合メリットを生かし、将来にわたり健全で持続可能な企業経営を目指すため、中長期的視点から、上下水道事業の経営理念を始め、課題や基本方針、基本施策等を一体的に取りまとめる。
- (2) 第5次高松市総合計画の分野別計画の一つとして、高松市水環境基本計画、その他の行政計画との整合を図る。
- (3) 策定後は、具体的取組について、業務指標等を取り入れた取組目標値の評価を行うとともに、4年ごとに見直しを行う。

## 2 改定版策定趣旨・見直し概要

### 高松市上下水道事業基本計画推進委員会

高松市上下水道事業  
 経営懇談会

お客さまアンケート  
 高松市上下水道モニター

市議会

お客さまニーズ

### 国の動き

【厚生労働省】 H25 「新水道ビジョン」公表  
 【国土交通省】 H26 「新下水道ビジョン」公表

### 上下水道事業を取り巻く社会情勢の変化への対応

- ① 県内水道事業の広域化
- ② 香東川流域下水道の移管
- ③ 建設資材費や労務単価の著しい上昇を受けた事業費の増加など

「高松市上下水道事業基本計画  
 （高松市上下水道ビジョン）【改定版】」の策定（H28.3/末）

計画期間：12年間  
 （平成24年度から35年度まで）

H24～H27

H28～H31

H32～H35

H28～H35 第6次高松市総合計画

### 3 計画の経営理念等

#### ■目指すべき姿

「安心して、いつでも、いつまでも使える上下水道システムの構築」

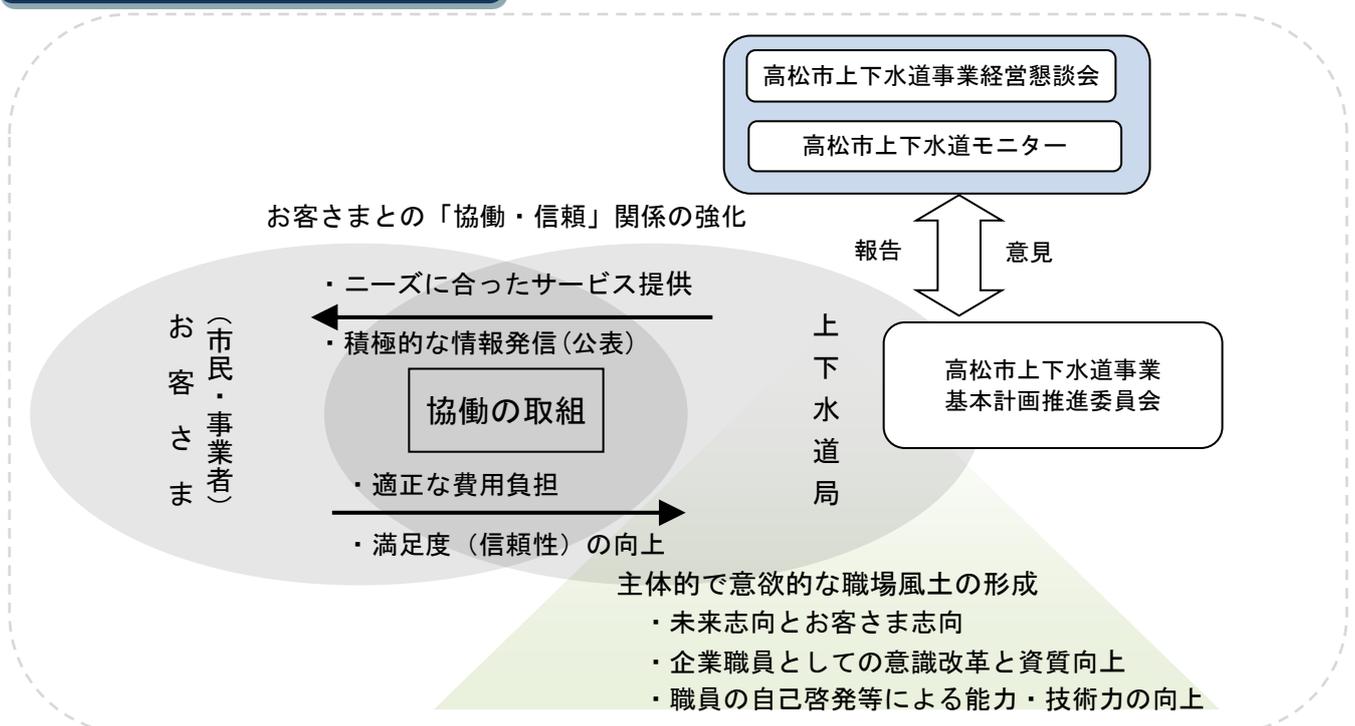
#### ■経営の基本理念（5つ）

【基本理念】 安全・安定・安価  
快適・安心  
お客さまとの協働・信頼  
効率化・コスト削減の徹底  
持続可能な水環境の形成

#### 基本（重点取組）目標

- 公営企業としての持続可能な安定した経営
  - ・ 現行料金水準の維持を基本とした適正なお客さま負担
  - ・ 県内水道広域化を見据えた事業運営と連携
- 安全で安心な生活環境の向上
- 災害に強いライフライン体制の構築

### 4 計画の推進



## 基本方針（6つ）

## 基本施策（27）

### 1 経営基盤の強化

事業経営の効率化、人と組織の活性化を図り、持続的に安定した経営基盤の確立を目指します。

- ① 財政健全化の推進
- ② 事業推進体制の確立
- 新**③ 職員の人材育成
- 拡**④ 水道広域化の推進
- 新**⑤ 水道広域化後における下水道事業運営体制の確立

### 2 お客さまサービスの向上

お客さまとの協働と信頼関係の下、開かれた事業運営により、サービスの向上を図ります。

- 拡**① 広聴広報活動の推進
- ② お客さまサービスの充実

### 3 安全で安定した水道水の供給

安全で良質な水道水を、いつでも飲めるよう安定給水の確保を図ります。

- ① 自己処理水源の確保
- ② 浄水施設整備事業の推進
- ③ 水道配水管網整備事業の推進
- ④ 漏水対策の強化
- 拡**⑤ 鉛製給水管の解消の推進
- ⑥ 小規模貯水槽の適正管理
- ⑦ 水質管理体制の充実

### 4 快適で安心な生活環境の提供

下水道等により、生活排水と雨水を適正に処理し、快適で安心な生活環境を提供します。

- 拡**① 生活排水対策の推進
- 拡**② 下水道の接続促進等
- ③ 下水道管路の適切な維持管理
- ④ 下水処理施設等の適切な維持管理及び水質管理
- ⑤ 下水道水質の適切な監視・指導
- ⑥ 浸水対策の推進

### 5 危機管理対策の強化

危機管理対策の強化を図り、災害に強いライフラインを目指します。

- 拡**① 上下水道施設の耐震化
- 拡**② 濁水対策等の推進
- ③ 応急給水・応急復旧体制の整備
- ④ 危機管理マニュアルの整備及び見直しと訓練の実施

### 6 環境・エネルギー対策の推進

環境負荷の低減や省エネルギー化、資源の循環利用など、持続可能な水環境の形成を目指します。

- ① 環境に配慮した事業の推進
- ② 再生可能エネルギーの活用
- ③ 水の有効利用の促進

**新** 新規施策

**拡** 拡充施策

## 5 具体的取組項目一覧

※基本施策ごとに、上下水道局及びお客さまの  
具体的取組項目を明記

基本方針	基本施策	重点施策（下線）	◎ 新規 ○ 拡充	具体的な取組項目
1 経営基盤の強化	① 財政健全化の推進			財政収支計画の策定 事務事業の見直し 水道料金及び下水道使用料等の適正化 未利用地の売却等
	② 事業推進体制の確立			適正かつ合理的な組織体制への再編 職員数の適正化計画の実施
	③ 職員の人材育成			○上下水道局人材育成計画の充実・見直しと実施 ◎研修センターの活用 ◎職員の能力・技術力の向上
	④ 水道広域化の推進			○香川県水道広域化の推進
	⑤ 水道広域化後における下水道事業運営体制の確立			◎下水道事業運営体制構築のための協議・検討
2 お客さまサービスの向上	① 広聴広報活動の推進			広聴活動の充実 広報活動の推進 お客さまアンケートの実施 パブリックコメント制度の積極的活用 ◎選ばれる水道水への取組 ◎水道資料館の保存と活用
	② お客さまサービスの充実			受付窓口の充実 各戸検針の推進 インターネットによる各種受付 ◎水道版スマートメーターの調査・研究
3 安全で安定した水道水の供給	① 自己処理水源の確保			柘川ダム建設事業の推進 地下水（奥の池周辺）の有効活用
	② 浄水施設整備事業の推進			御殿浄水場施設整備事業の推進 浅野浄水場施設整備事業の推進 川添浄水場施設整備事業の推進 合併町施設整備事業の推進
	③ 水道配水管網整備事業の推進			配水管整備事業の推進 老朽管更新事業の推進 合併町配水管網整備事業の推進
	④ 漏水対策の強化			漏水調査工法の見直し 鉛製給水管解消事業の推進による効率的な漏水防止事業の実施
	⑤ 鉛製給水管の解消の推進			○鉛管引替工事助成金交付制度の周知と活用の啓発 各種工事に合わせた鉛製給水管引替えの推進 鉛製給水管滞留水の適正使用の周知徹底
	⑥ 小規模貯水槽の適正管理			貯水槽水道の調査点検と管理指導等の徹底 貯水槽水道の適正管理の啓発 3階直圧・直結増圧給水の普及促進
	⑦ 水質管理体制の充実			水安全計画の適正な運用 水道G L Pの適正な運用 検査体制の充実 水質検査結果公表の推進

4 快適で安心な生活環境の提供	① 生活排水対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公共下水道の効率的な整備</li> <li>○合併処理浄化槽の設置促進</li> <li>○市民意識の醸成</li> <li>○汚水処理施設における共同処理</li> </ul>
	② 下水道の接続促進等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○下水道未接続世帯の解消</li> <li>○受益者負担金・分担金の徴収対策</li> </ul>
	③ 下水道管路の適切な維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○維持管理体制の構築</li> <li>○下水道台帳管理システムの適正な運用</li> <li>○下水道使用者に対する広報・周知・指導</li> <li>○下水道管路の計画的な改築・更新</li> </ul>
	④ 下水処理施設等の適切な維持管理及び水質管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○下水処理施設等の適切な維持管理</li> <li>○下水道設備台帳システムの適正な運用</li> <li>○下水処理施設等の長寿命化計画の策定</li> <li>○ゲリラ豪雨等に強い施設の情報管理システムの構築</li> <li>○下水処理施設に係る水質検査・管理体制の充実</li> </ul>
	⑤ 下水道水質の適切な監視・指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○法令に基づく水質規制監視の充実と指導の徹底</li> <li>○適切な排水の監視・指導のための水質検査体制の充実</li> <li>○下水道事業計画区域外での水質保全</li> </ul>
	⑥ 浸水対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中心市街地の浸水対策</li> <li>○周辺市街地の浸水対策</li> </ul>
5 危機管理対策の強化	① 上下水道施設の耐震化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○浄水施設等の耐震化の推進</li> <li>○水道管路網の耐震化の推進</li> <li>○下水処理施設等の耐震化の推進</li> <li>○下水道管路の耐震化の推進</li> <li>○危機管理センター（仮称）等の整備</li> </ul>
	② 渇水対策等の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水源の確保</li> <li>○配水池容量の拡大</li> <li>○相互連絡管の整備</li> </ul>
	③ 応急給水・応急復旧体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○応急給水所対策の推進及び飲料水兼用耐震性貯水槽の適正な維持管理</li> <li>○緊急時の給水・復旧体制の充実・強化</li> <li>○非常用資材の整備</li> <li>○関係機関との協力体制の整備</li> </ul>
	④ 危機管理マニュアルの整備及び見直しと訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○危機管理マニュアルの整備・見直し</li> <li>○災害時の職員の初動体制の確立</li> <li>○各種訓練の計画的実施</li> </ul>
6 環境・エネルギー対策の推進	① 環境に配慮した事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○省エネ設備等の浄水場・下水処理場への導入・検討</li> <li>○浄水発生土・下水処理汚泥の有効的な再生利用の調査・研究</li> <li>○エコ・オフィス活動の継続実施</li> <li>○水源ボランティア清掃の継続実施</li> </ul>
	② 再生可能エネルギーの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○再生可能エネルギー（太陽光発電、小水力発電、バイオマス発電）の活用</li> </ul>
	③ 水の有効利用の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広報による水の有効利用の啓発</li> <li>○各種行事・会議での水の有効利用等の啓発・広聴活動の推進</li> <li>○再生水利用の周知・啓発</li> <li>○雨水貯留施設等設置助成制度の積極的なPR・啓発</li> </ul>

## 6 水道事業会計財政収支見通し（平成24年から平成35年）

単位：百万円（税抜き）

年度	H24 決算	H25 決算	H26 決算	H27 見込	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
①収益的収入	8,072	8,083	8,514	8,446	8,290	8,297	8,327	8,335	8,298	8,286	8,273	8,258
うち給水収益	7,834	7,798	7,691	7,586	7,481	7,476	7,470	7,479	7,440	7,426	7,412	7,394
②収益的支出	7,276	7,130	8,176	7,593	7,654	7,487	7,564	7,599	7,468	7,522	7,510	7,463
うち減価償却費等	1,894	1,944	2,106	2,181	2,290	2,154	2,221	2,248	2,272	2,296	2,320	2,342
うち支払利息	330	255	242	235	235	257	288	296	301	302	305	308
③差（①－②）	796	953	338	853	636	810	763	736	830	764	763	795
④資本的収入	689	2,923	1,476	1,532	3,165	3,517	3,866	2,753	1,546	1,670	1,619	1,656
⑤資本的支出	4,117	3,671	5,023	4,172	6,030	6,895	5,490	5,144	3,837	4,162	4,055	4,223
うち投資的経費	2,129	2,920	3,238	3,346	4,677	4,392	4,581	4,242	2,943	3,237	3,070	3,161
⑥差（④－⑤）	△3,428	△748	△3,547	△2,640	△2,865	△3,378	△1,624	△2,391	△2,291	△2,492	△2,436	△2,567
⑦補てん財源	8,035	6,986	6,339	5,767	5,254	4,947	3,924	4,673	4,891	5,005	5,004	5,143
⑧資金残高	3,811	5,285	2,454	2,274	1,753	759	1,537	1,546	1,770	1,749	1,805	1,781
⑨企業債残高	10,630	10,277	10,440	10,627	11,971	13,624	14,542	15,304	15,802	16,433	16,954	17,436

※H27の資本的収支の額には繰越額を含んでいない。

平成29年11月に香川県広域水道企業団（仮称）の設立、30年4月から事業を開始、その後、10年間は、旧事業体毎に区分経理が予定されています。収益的収入の大半を占める給水収益（水道料金収入）は、節水機器の普及や給水人口の減少等により将来的に減収が見込まれます。一方、支出においては、水道使用量が減少することや、自己処理水源の活用により、県営水道からの受水費が減少しますが、施設の整備事業の実施に伴い、減価償却費が増加するため、ほぼ横ばいの水準で推移します。

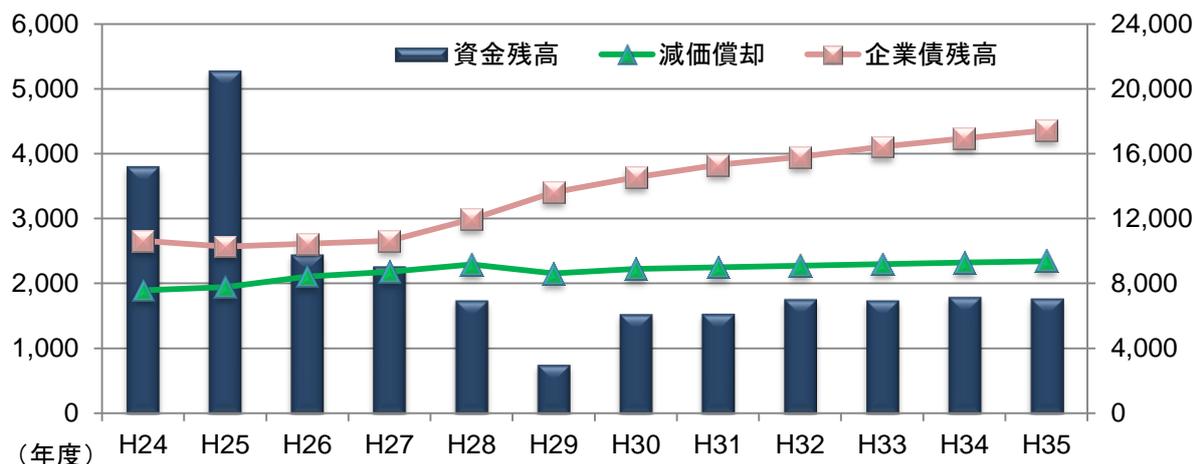
また、資本的収支における支出については、28年度までに、自己処理水源の確保等に伴う浄水場施設等の整備事業はひと段落するものの、今後、大量の老朽配水管更新事業を積極的かつ計画的に実施するため、28年度以降、高水準で推移します。

これらの事業実施に伴い、企業債の借入れが増加しますが、最終年度の35年度末では、資金残高は、約17億円となる見通しです。

資金残高・減価償却  
（百万円）

### 資金残高、企業債残高等の見通し

企業債残高  
（百万円）



## 7 下水道事業会計財政収支見通し（平成24年から平成35年）

単位：百万円（税抜き）

年度	H24 決算	H25 決算	H26 決算	H27 見込	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
①収益的収入	8,019	7,869	10,520	10,495	11,387	11,355	11,225	11,216	11,193	11,009	10,848	10,753
うち下水道使用料	3,997	4,030	3,981	3,996	3,952	3,943	3,933	3,934	3,900	3,896	3,891	3,885
②収益的支出	8,028	7,876	10,422	10,397	11,841	11,355	11,225	11,216	11,193	11,009	10,848	10,753
うち減価償却費等	3,531	3,315	5,817	5,809	6,943	6,969	6,869	6,944	6,956	6,895	6,802	6,770
うち支払利息	2,067	1,940	1,864	1,773	1,732	1,676	1,597	1,520	1,439	1,351	1,260	1,171
③差（①－②）	△9	△7	98	98	△454	0	0	0	0	0	0	0
④資本的収入	6,574	4,959	6,054	6,167	12,029	7,104	7,654	7,268	6,235	5,689	6,140	5,480
⑤資本的支出	9,816	8,553	8,173	8,920	15,423	10,426	11,988	10,746	9,843	9,367	9,981	9,434
うち投資的経費	3,961	3,691	3,012	3,575	3,274	4,143	4,636	4,264	3,395	2,789	3,321	2,853
⑥差（④－⑤）	△3,242	△3,594	△2,119	△2,753	△3,394	△3,322	△4,334	△3,478	△3,608	△3,678	△3,841	△3,954
⑦補てん財源	4,108	4,188	3,846	5,060	5,314	5,957	6,108	5,279	5,341	5,209	5,005	4,658
⑧資金残高	875	601	1,629	2,209	2,374	2,635	1,774	1,801	1,733	1,531	1,164	704
⑨企業債残高	92,756	91,626	90,172	89,242	93,844	92,384	91,071	89,366	87,159	84,423	81,710	78,630

※H27の資本的収支の額には繰越額を含んでいない。

収益的収支における収入については、接続率向上への努力やバイオマス発電などの増収要因の一方、大口事業者や処理区域内人口の減少などの減収要因があり、全体としては、減収が見込まれます。

一方、支出においては、平成28年度の香東川流域下水道の本市移管により、減価償却費、支払利息等が増加しますが、一般会計からの繰入れ等により、収支の均衡を図ることとしています。

資本的収支における支出については、汚水・雨水の施設整備費が多額に推移しておりますが、28年度以降も施設・管路の長寿命化計画に基づく改築・更新事業を継続的かつ効果的に実施する必要があります。

また、流域下水道の移管等により発行する企業債の償還が、当面は高水準で推移することから、資金残高との整合を図りながら、次期基本計画の見直し時（31年度）には、34年度以降での使用料改定を検討する必要があります。

資金残高・減価償却  
（百万円）

### 資金残高、企業債残高等の見通し

企業債残高  
（百万円）

